EasyAdmin Windows認証 - KB4031b

OpenLM EasyAdmin管理ウェブインターフェイスはロールベース のセキュリティスキームを実装し、組織の様々なロールのユーザ ーへ様々なレベルのアクセスを提供します。

OpenLMはディレクトリサービスの同期も実装し、ディレクトリ サービス(例:アクティブディレクトリ)情報とライセンス管理 を組み合わせて、自動的にユーザーとグループのデータを維持し ます。

バージョン3.3では、OpenLMはWindows認証スキームを提供す るこれらの機能が組合されました。この機能は通常のWindowsの ログインプロセスに従うEasyAdminウェブアプリケーションへの 直接のアクセスを可能にし、組織のディレクトリサービスで登録 されたユーザー名とパスワードを採用します。

どのように見えるか?

EasyAdminウェブアプリケーションを立ち上げると、ユーザーは OpenLMに入る選択を与えられます-特定の認証 (ユーザー名とパ スワード)か、マシンにログインするのに使用したのと同じ Windows認証を使用します。

	OpenLM	
	Please enter Username	
	Enter username	
		NEXT
	Microsoft Log in wi	th windows authentication

1. 事前要件

OpenLMインストレーションでWindows認証機能を実装するため には、次の事項が必要です:

1a. 次の機能を含めた有効なOpenLMライセンスファイル:

Roles_Based_Security

• Directory Synchronization (External_Platforms)

1b. サポートされるウェブブラウザのいずれかを採択:

- Microsoft Edge 最新バージョンを使用してください
- Mozilla Firefox 最新バージョンを使用してください
- Google Chrome 最新バージョンを使用してください

1c. Windowsのネットワークドメイン内でユーザーを認証し権利 を与えるアクティブディレクトリのドメイン

1d. アクティブディレクトリドメインコントローラーへのアドミ ンアクセス

1e. マイクロソフトIISウェブサーバー: OpenLMソフトウェアは LightTPDと共に配布されています。ビルトインのウェブサーバー です。Windows認証を採択するためには、EasyAdminユーザーは 代わりにマイクロソフトIISに切り替える必要があります。こちら のドキュメントの説明に従ってください。IISウェブサーバーでの 編集権利が必要です。

2. アクティブディレクトリ同期

アクティブディレクトリ同期を実行するには、OpenLMデータベースにユーザー名をインポートします。次のいずれかを実行してください:

- LDAP (アクティブディレクトリ)同期: クイックガイド
- LDAP (アクティブディレクトリ)同期: フルガイド

3. アドミンロールを割り当て

次のステップはOpenLMのロールと許可セキュリティ機能を有効 にすることです。特定のユーザーやグループにアドミン権限を割 り当てましょう。次のドキュメントに従ってください:

• ロールと許可グループベースのセキュリティ-AN4006

4. IISのWindows認証を有効

4a. マイクロソフトIISウェブサーバーでサービスロールを追加
web server: (Control panel (コントロールパネル) → Programs
and features (プログラムと機能) → Windows機能のオンオフ
→ Roles (ロール) → Web server (IIS) → Add Role Services (ロ
ールサービスの追加))



4b. "Windows Authentication"(ウインドウズ認証)が必ず'Installed'(インストール)されているか確認する。

Add Role Services		×
Select Role Servi	ices	
Role Services Confirmation Progress Results	Select the role services to install for Web Server (IIS): Role services: ODBC Logging (Installed) Security (Installed) Security (Installed) ODBET Authentication (Installed) ODBET Authentication (Installed) ODBET Authentication (Installed) ODBET Authentication (Installed) ODBET Authentication (Installed) ODBET Authentication (Installed) ODBET Authorization (Installed) ODDET Authorization (Installed) ODDET Authori	Description: Web Server provides support for HTML Web ites and optional support for ASP/NET, ASP, and Web server extensions. You can use the Web Server to host an internal or external Web site or to provide an environment for developers to create Web-based applications.

4c. IISマネジャーで、EasyAdminウェブアプリケーションを選択し、'Authentication'(認証)アイコンをクリックする。



4d. 'Authentication' (認証) ウインドウで次を設定:

- Windows authentication(ウインドウズ認証)を有効化
- ASP.Net Impersonation (ASP.Net偽装)の有効化
- Anonymous authentication (匿名認証)の無効化

onnections	Authentication			Alerts
Start Page	Group by: No Grouping			redirect-based authentication cannot be used simultaneously.
- 2 Application Pools	Name 🔶	Status	Response Type	Actions
⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕	AP-NET Impersonation Base: Authentication Depend Authentication Ferme Authentication Windows Authentication	Enabled Disabled Disabled Enabled Enabled	HTTP 401 Challenge HTTP 401 Challenge HTTP 3021 Logn/Redirect HTTP 401 Challenge	MHP Online Hep

4e. IISマネジャーで、'EasyAdmin'ウェブアプリケーション上 で、"Configuration Editor"(エディターの設定)アイコンをクリ ックする。

4f. 設定エディターで、system.webserver/validationセクション を選択し、validateIntegratedModeConfigurationの値を'False'に 設定。



5. ブラウザ設定

追加の設定がウェブブラウザに必要です。下図の様な認証ダイア ログウインドウを避けるためです: EasyAdmin Windows認証 – KB4031b - OpenLM Japan

Authentication Required
https://srv2008ldap.openlm.com:8096 requires a username and password.
User Name:
Password:

5.1 ChromeとInternet Explorerの場合

5.1.1 Internet Explorerブラウザを開始

5.1.2. Tools(ツール)を選択 → Internet Options(インターネットオプション)

5.1.3 'Security' (セキュリティ) タブをクリック

5.1.4 "Local Intranet Zone"(ローカルイントラネットゾーン)を 選択

5.1.5 'Sites' (サイト) をクリック → 'Advanced' (アドバンス)

5.1.6. ローカルイントラネットサイトを入力(例;

https://servername.openIm.com) し、'ADD'(追加)ボタンをク リック



5.2. Firefoxの場合

5.2.1 Firefoxアドレスバーで"About:Config"と入力

5.2.2 同意プロンプトが過ぎたら、フィルターボックスに'NTLM'と

入力

5.2.3 "network.automatic-ntlm-auth.trusted-uris"エントリをダ ブルクリック

注意: Environments limited to Kerberos認証に限定された環境で NTML認証を受け入れない場合は、network.negotiateauth.delegation-urisも調整する必要があります。

5.2.4. ローカルイントラネットサイトを入力 (https://servername.openIm.com)し、'OK'をクリック。.

6. EasyAdminの設定

Windows認証を有効化する最後のステップはEasyAdminの管理UI で設定しなければなりません:

1. EasyAdminブラウザを開いてください

2. **スタート** → **管理** → **システム& セキュリティ**アイコン。管理シ ステムウインドウが現れます。

3. 右側で**セキュリティ** → パスワード設定タブを選択。

4. ログイン認証が必要スイッチをONであるか確認し、信頼認証 (ドメイン)をONにします。

Administration - System & Securit	у	00
aster ID: 02348344		
System	Require Login Credentials	
Security	Password Strength 🕕	Basic Strong
Password Settings	Login timeout	30 min 🔷
	Use SMTP for password control ①	
	Maximum password age	
	Enforce password history	
	Block account when login failed	
	Trusted authentication	
	Add domain	ADD > Trusted domain
		openIm.biz
		m REMOVE
		SAVE

5. 貴社のドメイン名を入力(例: openIm.biz)しAdd(追加)を クリックして信頼ドメインリストに追加してください。

6. Save (保存) をクリックして設定を保存します。

以上です!

EasyAdminウェブアプリケーションがWindows認証を使用する事が出来るようになりました。このプロセス中に問題にあった場合、サポートチームにコンタクトしてください。喜んで設定をお手伝いさせて頂きます。

+81 (0)50 5893 6263 sales@openIm.com

